



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 サンワテクノス株式会社
 コード番号 8137 URL <http://www.sunwa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山本 勢
 (氏名) 花山 一八

TEL 03-5202-4011

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	76,807	△0.5	1,530	△4.6	1,843	0.8	1,259	8.8
28年3月期第3四半期	77,211	△0.6	1,603	△28.6	1,829	△26.3	1,157	△28.4

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 873百万円 (42.5%) 28年3月期第3四半期 612百万円 (△72.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	90.13	—
28年3月期第3四半期	80.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	57,759	22,369	38.7	1,614.09
28年3月期	55,439	22,263	40.2	1,550.73

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 22,369百万円 28年3月期 22,263百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	5.0	2,250	△8.0	2,450	△7.4	1,650	△2.4	118.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	14,438,000 株	28年3月期	14,438,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	579,429 株	28年3月期	81,182 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	13,969,341 株	28年3月期3Q	14,356,898 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
4. 補足情報	8
(1) 仕入、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済政策の効果もあり、雇用・所得環境の改善傾向が続くなど緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、英国のEU離脱問題や米国の政治情勢の変化等による海外経済の不確実性の高まりが、景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、スマートフォン向けの需要は引き続き堅調を維持しているものの、新興国等の景気の下振れリスクの影響を受けて産業機械業界は厳しい受注環境が続いております。しかしながら、半導体関連業界の見通しは好調であり、明るい兆しが現れております。

このような環境の中で当社グループは、第9次中期経営計画（Challenge 1500）の初年度として新たな取組みをスタートさせております。電機・電子・機械分野の最新技術と優れた製品情報を融合させたコアビジネスに、ものづくりの先鋭化をサポートするエンジニアリング力とグローバルSCMソリューションをプラスし、グローバルに活躍する独立系技術商社として新たな価値を生み出す取組みを推進しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高768億7百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益15億300百万円（前年同期比4.6%減）、経常利益18億43百万円（前年同期比0.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12億59百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、産業機械業界向けのサーボモータの販売が増加いたしました。太陽光発電システム向けの制御機器の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は136億90百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

[電子部門]

電子部門では、自動車関連業界向け電子部品の販売及びFPD（フラットパネルディスプレイ）関連業界向けのFA機器用電子部品の販売、小売店舗向けのショーケース用LED照明の販売が増加いたしました。アミューズメント向けの電子部品の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は570億55百万円（前年同期比0.6%減）となりました。

[機械部門]

機械部門では、FPD関連業界向け及び産業機械業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。自動車業界向けの生産設備の販売は減少いたしました。この結果、当部門の売上高は60億61百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

産業機械業界向けのサーボモータの販売、自動車関連業界向け電子部品の販売、FPD関連業界向けのFA機器用電子部品の販売、小売店舗向けのショーケース用LED照明の販売及びFPD関連業界向けの生産設備の販売が増加いたしました。太陽光発電システム向けの制御機器の販売及びアミューズメント向けの電子部品の販売は減少いたしました。この結果、売上高630億30百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益10億11百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

② アジア

産業機械業界向けのサーボモータの販売が増加いたしました。アミューズメント向け及び産業機械業界向けの電子部品の販売が減少いたしました。この結果、売上高184億90百万円（前年同期比18.6%減）、営業利益5億10百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

③ 欧米

産業機械業界向けの生産設備の販売及びアミューズメント向けの電子部品の販売が増加いたしました。自動車業界向けの生産設備の販売が減少いたしました。この結果、売上高30億63百万円（前年同期比25.1%増）、営業利益17百万円（前年同期は営業利益0百万円）となりました。

④ その他

売上高は11億55百万円（前年同期比26.8%減）、営業利益9百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、577億59百万円となり前連結会計年度末に比べ23億20百万円増加しました。商品及び製品の増加が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、353億90百万円となり前連結会計年度末に比べ22億14百万円増加しました。電子記録債務の増加が主な要因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、223億69百万円となり前連結会計年度末に比べ1億5百万円増加しました。利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加、為替換算調整勘定の減少が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月28日発表の連結の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社は、平成28年6月28日開催の定時株主総会において、役員退職慰労金制度の廃止に伴う打切り支給が承認可決されましたので、同制度を株主総会終結の時をもって廃止しております。

これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の「役員退職慰労引当金」を全額取り崩し、固定負債の「長期未払金」613百万円を計上しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,359	4,483
受取手形及び売掛金	33,006	29,839
電子記録債権	1,548	6,025
商品及び製品	5,170	6,920
仕掛品	0	72
その他	864	1,104
貸倒引当金	△91	△95
流動資産合計	46,857	48,350
固定資産		
有形固定資産	3,788	3,674
無形固定資産	240	202
投資その他の資産	4,553	5,532
固定資産合計	8,581	9,409
資産合計	55,439	57,759
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,732	13,148
電子記録債務	—	13,777
短期借入金	1,417	1,400
1年内返済予定の長期借入金	900	300
未払法人税等	274	171
引当金	—	44
その他	1,366	1,177
流動負債合計	28,691	30,019
固定負債		
社債	1,200	1,200
長期借入金	1,200	1,800
長期未払金	—	613
役員退職慰労引当金	696	66
退職給付に係る負債	998	1,059
その他	389	631
固定負債合計	4,484	5,371
負債合計	33,176	35,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,553	2,553
資本剰余金	1,958	1,958
利益剰余金	15,761	16,625
自己株式	△54	△427
株主資本合計	20,217	20,709
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,148	1,819
為替換算調整勘定	897	△159
その他の包括利益累計額合計	2,045	1,659
純資産合計	22,263	22,369
負債純資産合計	55,439	57,759

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	77,211	76,807
売上原価	67,489	67,152
売上総利益	9,722	9,654
販売費及び一般管理費	8,118	8,124
営業利益	1,603	1,530
営業外収益		
受取利息	16	14
受取配当金	72	70
仕入割引	40	42
受取家賃	87	85
為替差益	—	65
その他	143	86
営業外収益合計	361	365
営業外費用		
支払利息	32	30
手形売却損	—	1
売上債権売却損	9	8
為替差損	78	—
その他	15	11
営業外費用合計	135	52
経常利益	1,829	1,843
特別利益		
投資有価証券売却益	—	36
特別利益合計	—	36
特別損失		
固定資産売却損	94	—
投資有価証券売却損	—	13
特別損失合計	94	13
税金等調整前四半期純利益	1,734	1,867
法人税等	576	608
四半期純利益	1,157	1,259
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,157	1,259

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	1,157	1,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△310	670
為替換算調整勘定	△234	△1,056
その他の包括利益合計	△544	△385
四半期包括利益	612	873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	612	873
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	53,336	20,647	2,322	76,306	904	77,211	—	77,211
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,654	2,073	126	6,853	673	7,527	△7,527	—
計	57,990	22,720	2,448	83,160	1,578	84,739	△7,527	77,211
セグメント利益	960	642	0	1,603	9	1,612	△9	1,603

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額△10百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	56,765	16,616	2,708	76,090	716	76,807	—	76,807
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,264	1,874	354	8,493	438	8,932	△8,932	—
計	63,030	18,490	3,063	84,584	1,155	85,739	△8,932	76,807
セグメント利益	1,011	510	17	1,538	9	1,548	△18	1,530

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去1百万円及び棚卸資産の調整額△20百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第3四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	55,331	110.9
アジア (百万円)	12,287	71.2
欧米 (百万円)	749	79.6
報告セグメント計 (百万円)	68,368	100.4
その他 (百万円)	607	71.8
合計 (百万円)	68,975	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	61,688	113.9	15,341	127.3
アジア	16,952	82.8	5,432	102.6
欧米	2,981	130.2	1,244	181.6
報告セグメント計	81,622	106.1	22,019	122.1
その他	859	114.1	242	198.7
合計	82,482	106.1	22,262	122.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	56,765	106.4
アジア (百万円)	16,616	80.5
欧米 (百万円)	2,708	116.6
報告セグメント計 (百万円)	76,090	99.7
その他 (百万円)	716	79.2
合計 (百万円)	76,807	99.5

(注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。